

小海高等学校生活指導係発行

捨てるゴミがあれば、拾うゴミもある！



今週の水曜日(10日)、2名の女子生徒が工芸室まで来ました。二人とも手にゴミを持っていました。聞いてみると通学路に落ちていた本校のお昼に販売されているもののゴミでした。普段は先生が駅頭や通学路に立って挨拶をしたりゴミを捨てたりしているのだけれど、当日は先生もいなかったで自分たちでゴミを拾ってきました。それに、こういう風にゴミを出してお昼の販売がなくなってしまうと困るので拾ってきました。彼女たちはそのように話していました。

同じ日に別の男子生徒が本校の自動販売機で使われている紙コップを二つ手にして登校してきました。どこで捨てたのか聞いてみると、本校グラウンド下の馬流駅方面への通学路に落ちていたとのことでした。このように状況を判断して自主的にゴミを捨てる生徒も本校にはいるのです。

常日頃から言っていることではありますが、ゴミを捨てている人がいると言うことは、ゴミを捨てている人がいる、と言うことです。捨てなければ拾わなくて良い。しかし落ちていれば拾わなければならない、ということも言えます。同じことが色々な事柄に当てはまります。汚れたらきれいにしなければならない。壊したら直さなければならない。学習に必要な物を忘れたら借りなければならない。借りたら返さなければならない。

清掃等で「自分が汚したわけではないのに何でこんなことしなきゃならないんだ」と思っているうちはまだまだで、気持ちをそこに集中して汚れに気づき、きれいにできるように出来ると世の中の色々なことが見えるようになっていきます。それは学習・クラブ活動・日々の生活習慣を変えていきます。生徒諸君も試みに自主的にゴミ拾いをしてみてはどうですか？

自転車盗難について



今年度になって係で把握しているだけで学校の駐輪場から2台の自転車が盗まれています。2台とも見つかってはいますが、誰かが所有者に断りもなく勝手に乗り回して放置したという悪質な状況です。最初の1台は9月、2台目は先週盗まれています。係としては見つかった場所から判断して登下校時に盗難自転車が発見された場所を通っている諸君が何か知っているのではないかと考え、個々に協力をお願いしています。

また、盗難が起こっているにもかかわらず自転車にカギをかけなかったり、貴重品を教室等に置きっぱなしにしたりしている諸君を少なからず見かけます。盗難があるということは寂しいことではありますが、「貴重品は放っておくと盗まれてしまう」という気持ちをひとりひとりが持つ必要もあります。自転車はカギをする、自分のロッカーにもカギをする、班室も班活中も含めてカギをする、貴重品は場合によっては先生に預ける。大事な物は大事にしてください。